

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限（2016年7月1日設定）	
運用方針	<p>ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の米ドル建ての公社債に投資を行い、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し公社債の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、新興国の米ドル建ての公社債に直接投資することがあります。
	マザーファンド	新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

eMAXIS
 イーマックス

eMAXIS 新興国債券 インデックス（為替ヘッジあり）

第2期（決算日：2018年1月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり）」は、去る1月26日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

MUFG

三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

eMAXIS専用サイト <https://emaxis.jp/>

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス (円ヘッジ・円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2016年7月1日	10,000	—	—	12,304.53	—	—	—	1
1期(2017年1月26日)	9,775	0	△2.3	12,025.51	△2.3	90.6	—	39
2期(2018年1月26日)	10,190	0	4.2	12,581.97	4.6	94.7	—	309

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している流動性の高い米ドル建ての新興国国債のパフォーマンスを表す指数です。同指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJ Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン・エマージング・ マーケット・ボンド・ インデックス・プラス (円ヘッジ・ 円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2017年1月26日	円 9,775	% —	12,025.51	% —	% 90.6	% —
1月末	9,804	0.3	12,033.70	0.1	91.4	—
2月末	9,993	2.2	12,276.57	2.1	95.0	—
3月末	10,027	2.6	12,335.25	2.6	95.7	—
4月末	10,158	3.9	12,499.49	3.9	97.3	—
5月末	10,233	4.7	12,608.48	4.8	96.2	—
6月末	10,182	4.2	12,543.71	4.3	97.2	—
7月末	10,185	4.2	12,556.58	4.4	94.6	—
8月末	10,345	5.8	12,760.99	6.1	97.3	—
9月末	10,328	5.7	12,711.88	5.7	98.8	—
10月末	10,331	5.7	12,725.59	5.8	96.7	—
11月末	10,205	4.4	12,598.54	4.8	95.2	—
12月末	10,212	4.5	12,638.91	5.1	96.9	—
(期 末) 2018年1月26日	10,190	4.2	12,581.97	4.6	94.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

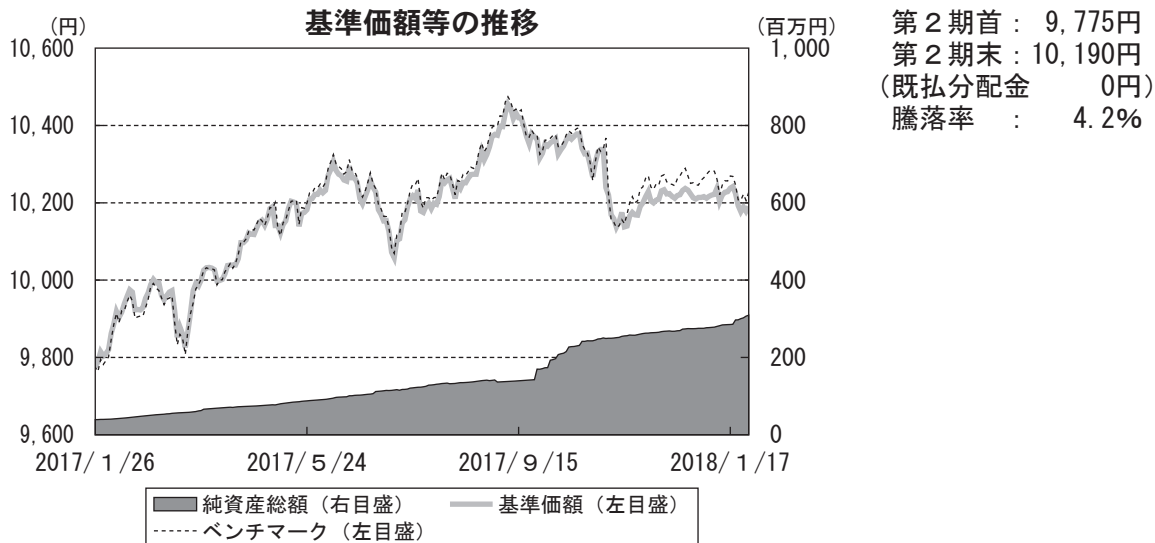
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第2期：2017/1/27～2018/1/26)

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ4.2%の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(4.6%)を0.4%下回りました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因	・新興国の米ドル建て債券市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
------	---

投資環境について

（第2期：2017/1/27～2018/1/26）

◎債券市況

- ・世界経済の回復期待などを背景に、新興国の米ドル建て債券市況は期首に比べて上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

< e M A X I S 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり） >

- ・ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド受益証券に投資し、これを通じてベンチマークであるJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・債券の実質組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の市況変動の影響を反映しています。

< ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド >

基準価額は期首に比べ4.8%の上昇となりました。

- ・新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。
- ・組入外貨建資産については、ベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行いました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首（2017年1月26日）

期末（2018年1月26日）

最終利回り	5.4%	➡	最終利回り	5.2%
直接利回り	5.7%		直接利回り	5.8%
デュレーション	7.0年		デュレーション	7.6年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

< e M A X I S 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり） >

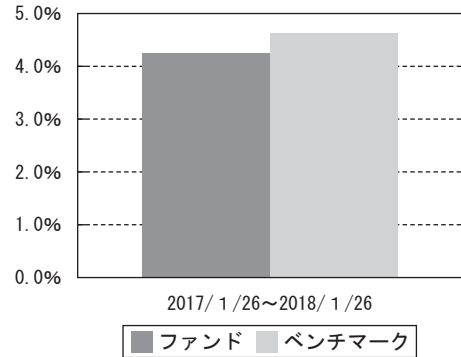
ベンチマークとのカイ離は $\Delta 0.4\%$ 程度となりました。

	マザーファンド 保有以外の要因	マザーファンド 保有による要因	合 計
ベンチマーク とのカイ離	$\Delta 0.5\%$ 程度	0.2%程度	$\Delta 0.4\%$ 程度

（注）四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

- ◎マザーファンド保有以外の要因
ファンドの管理コスト等は $\Delta 0.5\%$ 程度でした。
- ◎マザーファンド保有による要因
マザーファンド保有による影響は0.2%程度でした。

基準価額（ベビーファンド）と
ベンチマークの対比（騰落率）



<ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド>

ベンチマークは4.6%の上昇となったため、カイ離は0.2%程度となりました。

	ポートフォリオ 要 因	管理コスト等 要 因	評価時価差異 に基づく要因	合 計
ベンチマークとのカイ離	0.9%程度	$\Delta 0.9\%$ 程度	0.2%程度	0.2%程度

（注）四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

- ◎ポートフォリオ要因
ポートフォリオ要因による影響は0.9%程度でした。
・期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。
- ◎管理コスト等要因
管理コスト等による影響は $\Delta 0.9\%$ 程度でした。
・取引コスト、カस्टディーフィー等による要因です。

◎評価時価差異に基づく要因

評価時価差異による影響は0.2%程度でした。

- ・為替の効果および債券の効果による要因です。

為替の効果：現地通貨建て債券時価を円建てに換算する方法がファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。

債券の効果：保有する債券の評価時価が、ファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第2期
	2017年1月27日～2018年1月26日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	488

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

< eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり） >

- ・ファンドの資産のほぼ全額をヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド受益証券に投資し、高い実質外国公社債組入比率を維持します。

< ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド >

- ・ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・組入外貨建資産については、原則としてベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行います。

○ 1万口当たりの費用明細

(2017年1月27日～2018年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 70	% 0.684	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(31)	(0.308)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.308)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.068)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	31	0.305	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(22)	(0.221)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(8)	(0.080)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	101	0.989	
期中の平均基準価額は、10,166円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年1月27日～2018年1月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド	千口 235,478	千円 282,721	千口 11,429	千円 13,704

○利害関係人との取引状況等

(2017年1月27日～2018年1月26日)

利害関係人との取引状況

< eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり） >

該当事項はございません。

<ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
		うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	10,052	1,878	18.7	10,552	2,075	19.7
為替直物取引	1,440	616	42.8	957	361	37.7

平均保有割合 18.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年1月27日～2018年1月26日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 1	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

○組入資産の明細

(2018年1月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド	千口 34,241	千口 258,290	千円 309,225

○投資信託財産の構成

(2018年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド	千円 309,225	% 99.0
コール・ローン等、その他	3,174	1.0
投資信託財産総額	312,399	100.0

(注) ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（1,006,853千円）の投資信託財産総額（1,072,658千円）に対する比率は93.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.78円			
-----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	312,399,919
コール・ローン等	3,174,383
ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド(評価額)	309,225,536
(B) 負債	3,091,584
未払解約金	2,391,072
未払信託報酬	696,387
未払利息	4
その他未払費用	4,121
(C) 純資産総額(A-B)	309,308,335
元本	303,534,231
次期繰越損益金	5,774,104
(D) 受益権総口数	303,534,231口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,190円

<注記事項>

- ①期首元本額 40,029,657円
 期中追加設定元本額 335,089,026円
 期中一部解約元本額 71,584,452円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0190円です。

②分配金の計算過程

項 目	2017年1月27日～ 2018年1月26日
費用控除後の配当等収益額	6,991,666円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	7,477,631円
分配準備積立金額	352,960円
当ファンドの分配対象収益額	14,822,257円
1万口当たり収益分配対象額	488円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

○損益の状況（2017年1月27日～2018年1月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 355
受取利息	4
支払利息	△ 359
(B) 有価証券売買損益	242,915
売買益	1,165,333
売買損	△ 922,418
(C) 信託報酬等	△ 950,787
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 708,227
(E) 前期繰越損益金	△ 10,445
(F) 追加信託差損益金	6,492,776
(配当等相当額)	(5,972,449)
(売買損益相当額)	(520,327)
(G) 計(D+E+F)	5,774,104
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	5,774,104
追加信託差損益金	6,492,776
(配当等相当額)	(7,477,631)
(売買損益相当額)	(△ 984,855)
分配準備積立金	7,344,626
繰越損益金	△8,063,298

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①よりわかりやすい記載を目的として目論見書の特色の配分方針に「分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)」を掲載しました。
- ②当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
(2018年1月1日)
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド

《第4期》決算日2017年3月27日

[計算期間：2016年3月26日～2017年3月27日]

「ヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンド」は、3月27日に第4期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とし、J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。 対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し公社債の投資比率が100%を超える場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。
主要運用対象	新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	期騰	期中率	期騰	期中率			
(設定日) 2013年9月26日	円	%	円	%	%	%	百万円
	10,000	—	10,401.01	—	—	—	499
1期(2014年3月25日)	10,069	0.7	10,505.51	1.0	97.3	—	542
2期(2015年3月25日)	10,670	6.0	11,130.95	6.0	97.3	—	740
3期(2016年3月25日)	10,961	2.7	11,615.35	4.4	94.6	—	879
4期(2017年3月27日)	11,727	7.0	12,333.36	6.2	93.5	—	679

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している流動性の高い米ドル建ての新興国債のパフォーマンスを表す指数です。同指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）とは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJ Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン・エマージング・ マーケット・ボンド・ インデックス・プラス (円ヘッジ・ 円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2016年3月25日	円 10,961	% —	11,615.35	% —	% 94.6	% —
3月末	11,034	0.7	11,671.23	0.5	93.9	—
4月末	11,224	2.4	11,842.74	2.0	91.4	—
5月末	11,249	2.6	11,827.84	1.8	96.8	—
6月末	11,659	6.4	12,304.53	5.9	89.7	—
7月末	11,759	7.3	12,388.29	6.7	96.8	—
8月末	11,994	9.4	12,635.69	8.8	96.1	—
9月末	12,043	9.9	12,632.99	8.8	94.2	—
10月末	11,791	7.6	12,375.66	6.5	98.4	—
11月末	11,227	2.4	11,786.17	1.5	102.0	—
12月末	11,312	3.2	11,896.16	2.4	95.0	—
2017年1月末	11,460	4.6	12,033.70	3.6	91.4	—
2月末	11,685	6.6	12,276.57	5.7	95.0	—
(期 末) 2017年3月27日	11,727	7.0	12,333.36	6.2	93.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

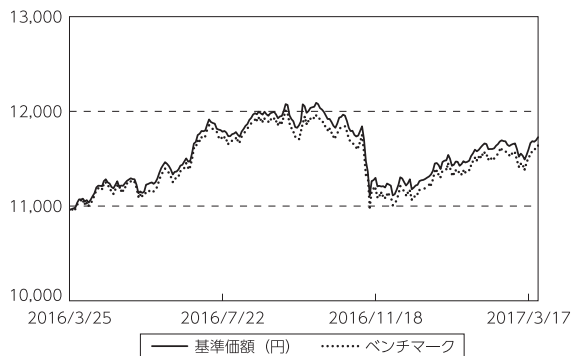
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.0%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(6.2%)を0.8%上回りました。

基準価額の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

- ・2016年11月に行われた米国大統領選挙の結果を受けて主要国の金利が総じて上昇する局面もありましたが、原油価格が底堅く推移したことや、トランプ大統領就任により、世界的に景気回復の期待が強まったことなどから、新興国の米ドル建て債券市況は期首に比べて上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・新興国の米ドル建ての公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。
- ・組入外貨建資産については、ベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行いました。

- 当該投資信託のベンチマークとの差異について
ベンチマークは6.2%の上昇となったため、カイ離は0.8%程度となりました。

	ポートフォリオ 要 因	管理コスト等 要 因	評価時価差異 に基づく要因	合 計
ベンチマーク とのカイ離	1.8%程度	△0.9%程度	△0.0%程度	0.8%程度

(注) 四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

◎ポートフォリオ要因

ポートフォリオ要因による影響は1.8%程度でした。

- ・期を通じてベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

◎管理コスト等要因

管理コスト等による影響は△0.9%程度でした。

- ・取引コスト、カストディーフィー等による要因です。

◎評価時価差異に基づく要因

評価時価差異による影響は△0.0%程度でした。

- ・為替の効果および債券の効果による要因です。

為替の効果：現地通貨建て債券時価を円建てに換算する方法がファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。

債券の効果：保有する債券の評価時価が、ファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。

○今後の運用方針

- ・今後の運用についても、運用方針を堅持します。
- ・ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・組入外貨建資産については、原則としてベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月26日～2017年3月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 22	% 0.191	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(22)	(0.190)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	22	0.191	
期中の平均基準価額は、11,536円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月26日～2017年3月27日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 12,918	千アメリカドル 14,671 (4)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月26日～2017年3月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			B A			D C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	10,133	3,622	35.7	9,930	3,596	36.2
為替直物取引	1,128	889	78.8	1,384	1,041	75.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年3月27日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	5,462	5,755	635,660	93.5	48.6	80.5	12.7	0.3
合 計	5,462	5,755	635,660	93.5	48.6	80.5	12.7	0.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円			
国債証券							
	11.75	VENEZUELA 261021	11.75	60	34	3,849	2026/10/21
	11.875	TURKEY 300115	11.875	30	46	5,158	2030/1/15
	11.95	VENEZUELA 310805	11.95	150	86	9,591	2031/8/5
	12.75	VENEZUELA 220823	12.75	20	13	1,435	2022/8/23
	3.25	TURKEY 230323	3.25	200	183	20,305	2023/3/23
	3.5	MEXICO 210121	3.5	20	20	2,281	2021/1/21
	3.625	MEXICO 220315	3.625	10	10	1,133	2022/3/15
	4	HUNGARY 190325	4.0	20	20	2,289	2019/3/25
	4	MEXICO 231002	4.0	210	217	23,990	2023/10/2
	4.125	PERU 270825	4.125	50	54	5,998	2027/8/25
	4.375	ROMANIA 230822	4.375	30	31	3,500	2023/8/22
	4.5	RUSSIA 220404	4.5	200	211	23,387	2022/4/4
	4.665	REPUBLIC OF 240117	4.665	100	103	11,384	2024/1/17
	4.75	MEXICO 440308	4.75	50	49	5,425	2044/3/8
	4.75	RUSSIA 260527	4.75	200	208	23,019	2026/5/27
	4.875	ROMANIA 240122	4.875	10	10	1,199	2024/1/22
	5	RUSSIA 200429	5.0	100	106	11,796	2020/4/29
	5.125	MEXICO 200115	5.125	10	10	1,196	2020/1/15
	5.375	HUNGARY 230221	5.375	80	87	9,710	2023/2/21
	5.375	HUNGARY 240325	5.375	70	77	8,569	2024/3/25
	5.55	MEXICO 450121	5.55	100	108	11,996	2045/1/21
	5.625	BRAZIL 410107	5.625	100	97	10,726	2041/1/7
	5.625	PERU 501118	5.625	50	60	6,654	2050/11/18
	5.75	HUNGARY 231122	5.75	30	33	3,734	2023/11/22
	5.75	MEXICO 101012	5.75	50	49	5,475	2110/10/12
	5.875	INDONESIA 240115	5.875	200	226	25,038	2024/1/15

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
アメリカ	国債証券	5.875 SOUTHAFRICA 220530	5.875	100	110	12,212	2022/5/30
		6.05 MEXICO 400111	6.05	70	80	8,880	2040/1/11
		6.125 COLOMBIA 410118	6.125	100	115	12,769	2041/1/18
		6.125 ROMANIA 440122	6.125	20	24	2,712	2044/1/22
		6.25 HUNGARY 200129	6.25	10	10	1,210	2020/1/29
		6.375 PHILIPPINE 320115	6.375	100	129	14,295	2032/1/15
		6.375 PHILIPPINE 341023	6.375	100	132	14,656	2034/10/23
		6.55 PERU 370314	6.55	10	13	1,444	2037/3/14
		6.625 CROATIA 200714	6.625	100	110	12,173	2020/7/14
		6.7 PANAMA 360126	6.7	20	25	2,807	2036/1/26
		6.75 CROATIA 191105	6.75	100	109	12,085	2019/11/5
		6.75 MEXICO 340927	6.75	40	50	5,544	2034/9/27
		6.75 ROMANIA 220207	6.75	30	34	3,843	2022/2/7
		6.875 ARGENTINA 210422	6.875	150	160	17,767	2021/4/22
		6.875 TURKEY 360317	6.875	30	32	3,603	2036/3/17
		7 TURKEY 200605	7.0	30	32	3,628	2020/6/5
		7 VENEZUELA 380331	7.0	30	13	1,461	2038/3/31
		7.125 BRAZIL 370120	7.125	90	101	11,256	2037/1/20
		7.125 PANAMA 260129	7.125	100	126	13,929	2026/1/29
		7.25 TURKEY 380305	7.25	190	215	23,755	2038/3/5
		7.375 COLOMBIA 370918	7.375	100	128	14,163	2037/9/18
		7.375 TURKEY 250205	7.375	190	216	23,940	2025/2/5
		7.5 ARGENTINA 260422	7.5	150	159	17,601	2026/4/22
		7.5 MEXICO 330408	7.5	40	52	5,776	2033/4/8
		7.625 HUNGARY 410329	7.625	20	28	3,200	2041/3/29
		7.75 INDONESIA 380117	7.75	200	276	30,484	2038/1/17
		7.75 UKRAINE 200901	7.75	100	100	11,051	2020/9/1
		7.75 UKRAINE 270901	7.75	100	92	10,175	2027/9/1
		7.75 VENEZUELA 191013	7.75	80	50	5,552	2019/10/13
		8 TURKEY 340214	8.0	40	48	5,316	2034/2/14
		8.125 COLOMBIA 240521	8.125	110	139	15,382	2024/5/21
		8.25 BRAZIL 340120	8.25	20	24	2,744	2034/1/20
		8.25 VENEZUELA 241013	8.25	100	48	5,323	2024/10/13
		8.75 BRAZIL 250204	8.75	160	202	22,353	2025/2/4
		8.875 BRAZIL 191014	8.875	20	23	2,565	2019/10/14
		9 VENEZUELA 230507	9.0	60	31	3,455	2023/5/7
		9.375 VENEZUELA 340113	9.375	20	9	1,065	2034/1/13
		9.5 PHILIPPINE 300202	9.5	70	110	12,205	2030/2/2
		STEP ARGENTINA 381231	2.5	270	169	18,726	2038/12/31
		STEP RUSSIA 300331	7.5	42	51	5,684	2030/3/31
合	計					635,660	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年3月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 635,660	% 88.6
コール・ローン等、その他	82,089	11.4
投資信託財産総額	717,749	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (623,923千円) の投資信託財産総額 (717,749千円) に対する比率は86.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.44円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年3月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,414,324,775 円
コール・ローン等	58,927,389
公社債(評価額)	635,660,429
未収入金	710,774,609
未収利息	7,265,582
前払費用	1,696,766
(B) 負債	734,770,783
未払金	734,351,834
未払解約金	418,897
未払利息	52
(C) 純資産総額(A-B)	679,553,992
元本	579,480,051
次期繰越損益金	100,073,941
(D) 受益権総口数	579,480,051口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,727円

<注記事項>

- ①期首元本額 802,411,718円
 期中追加設定元本額 970,581,565円
 期中一部解約元本額 1,193,513,232円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1727円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

eMAXIS 新興国債券インデックス(為替ヘッジあり)	56,398,202円
三菱UFJ バランス・イノベーション(新興国投資型)	35,121,073円
ヘッジ付新興国債券インデックスファンド	487,960,776円
合計	579,480,051円

○損益の状況 (2016年3月26日~2017年3月27日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	46,028,058 円
受取利息	46,040,509
支払利息	△ 12,451
(B) 有価証券売買損益	10,714,631
売買益	236,838,865
売買損	△226,124,234
(C) 保管費用等	△ 1,468,153
(D) 当期損益金(A+B+C)	55,274,536
(E) 前期繰越損益金	77,130,912
(F) 追加信託差損益金	154,476,902
(G) 解約差損益金	△186,808,409
(H) 計(D+E+F+G)	100,073,941
次期繰越損益金(H)	100,073,941

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定めるため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2016年6月15日)